

環境対応形塗料の現状

(社)日本鋼橋塗装専門会
近畿地区委員会

1. はじめに

これから塗装を考えると、地球環境の保全あるいは労働安全衛生面の改善等は避けて通ることの出来ない課題であるといえる。

橋梁塗装に使用される塗料に種々の化学物質が含まれており、これらの化学物質が環境に出た場合、各種の環境問題を起こす事が分かっているし、塗装作業者が接触することによって安全衛生面の問題を起こす事も分かっており、塗料面で様々な対応・対策が進んでいる。また塗装することによって環境汚染物質を分解し、清浄にする塗料も開発されている。

橋梁塗装においての環境対策開発状況を、賛助会員6社の協力を得て近畿地区委員会で福島技術委員長の指導のもと調査した。

2. 環境対策塗装に対応する塗料の種類

- 2-1 弱溶剤・低臭気形塗料
- 2-2 クロムや鉛等の有害重金属を含まないさび止め塗料
- 2-3 VOC削減対応塗料
- 2-4 低汚染塗料
- 2-5 光触媒塗料

今回、調査の対象として 上記 5種類を選んだ。

3. 弱溶剤・低臭気形塗料

鋼橋の塗り替えにおいても、塗装耐久性を向上させるため油性さび止めペイントにかえて、変性エポキシ樹脂塗料を防錆下塗りとして使用されることが増している。

エポキシ樹脂系塗料はエポキシ樹脂を溶解するために臭気の強い・溶解力の強い溶剤が一般的に使われている。最近では 臭気の弱い塗料用シンナーで溶解するエポキシ樹脂が開発され、環境にやさしい塗料として商品化されている。さらにこの塗料には次の特徴もあり、塗り替え工事での利用が増加しつつある。

【1】ベース塗料は、消防法による危険物として指定可燃物の表示がなされていて安全性が高い。

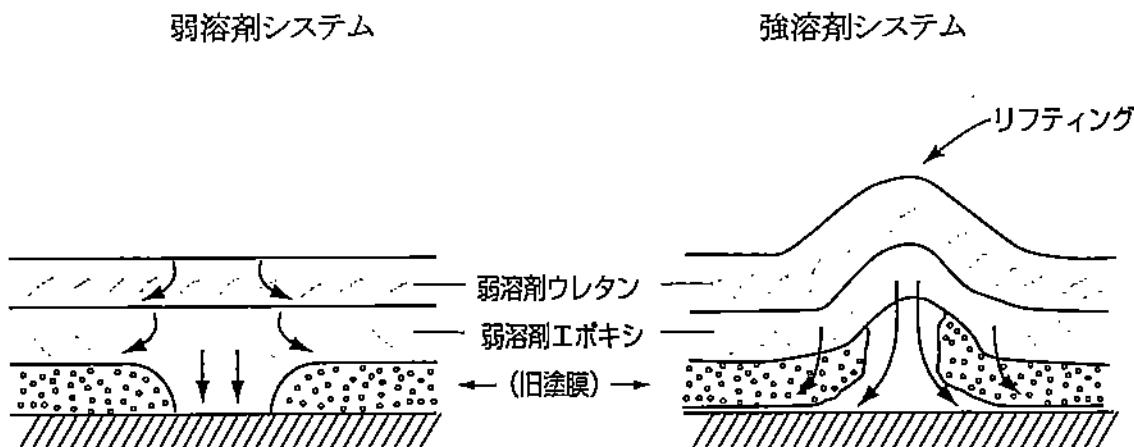
【2】塗り替え時の残存旧塗膜に対する作用もマイルドで、油性・フタル酸塗料塗装系に対しても適用できる。

【3】上塗り塗料として、条件によって種々な品種が採用できる。

賛助会員 6社とも開発し、実用化されている。

プラント類を主に橋梁での実績も多い。

弱溶剤システムの旧塗膜適性



マイルドな塗料用シンナーを使用しているため脆弱な旧塗膜を膨潤させることなく、リフティングが起きない。

強溶剤が脆弱な旧塗膜及び旧塗膜と素地間に侵入し、旧塗膜が膨潤しリフティングする。

4. クロムや鉛等の有害重金属を含まないさび止め塗料

鉛やクロムを防錆顔料として含んださび止めペイントがJIS規格品として多用されてきた。

これらの重金属は環境汚染物としてまた、労働安全衛生面からもり扱いに様々な規制が加えられている。特に塗替時の規制がアメリカでは強化されており、塗替に多大のコストが必要になっている。この対策塗料として、重金属フリーでJIS鉛系さび止めペイントと同等の機能を有した塗料の規格制定を日本塗料工業会がJPMS-26の規格記号で規格化し、普及を目指している。他に変性エポキシ樹脂塗料下塗で重金属フリーで弱溶剤でしかもVOC削減目標にも合致する塗料の開発も進められている。

しかし、JPMS-26規格品を実際に販売している塗料メーカーは少なく、その理由として

① 鉛系さび止めの指定が多い。

② 価格が高くなる

などの、理由をあげている。

りん酸塩系さび止めペイントの品質

JPMS-26:1997

項目	種類	
	1種	2種
容器の中での状態	かき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になること。	
塗装作業性	はけ塗りで塗装作業性に支障がないこと。	
乾燥時間(半硬化乾燥) h	20以内	8以内
塗膜の外観	塗膜の外観が正常であること。	
上塗り適合性	上塗りに支障がないこと。	
耐屈曲性	直径6mmの折り曲げに耐えること。	
付着安定性	はがれを認めないこと。	
耐複合サイクル防食性	36サイクルの試験に耐えること。	
加熱残分 %	80以上	70以上
溶剤不溶物 %	50以上	40以上
溶剤不溶物中のリン酸 %	6以上	
塗膜中の鉛 %	0.06以下	
防せい(錆)性	24か月の試験で塗面にさびがなく、塗膜を剥がしたとき、さびの程度が見本に比べて大きくないこと。	

5. VOC削減対応塗料

地球環境問題に対する危機感が高まっており、オゾン層破壊物質に対する規制強化によりフロンガスや塩素系溶剤の製造が禁止されている。さらにオゾン生成に関与する汚染物質SOX・NOX・CO等有害物質の大気への排出削減が求められており、VOC(揮発性有機化合物)に関しても同様である。VOCに関しては、その発生源の30%は 塗料用有機溶剤このうち約50%が 建設分野で使用されていると云われている。

建設省土木研究所では有機溶剤量を現行に対して 1/3 以上削減した塗装仕様の実用性検討を実施している。塗料としては、有機溶剤量をほぼ0にした水性塗料や無溶剤型塗料が開発されている。しかし、これらの塗料は 塗装作業性や適用範囲に問題もあり、鋼橋の塗り替えには未だ適用されていない。当専門会では、1/3 以上の削減目標を満足する塗料・塗装系について、作業性を中心とした検討を実施している。

現行の 鋼道路橋塗装便覧の塗料標準のVOC上限値を30%削減した基準に該当する下記塗料について調査した。

- 1) 有機ジンクリッヂペイント (NV 85%以上)
- 2) 変性エポキシ樹脂塗料 下塗 (NV 75%以上)
- 3) ポリウレタン樹脂塗料 中塗 (NV 70%以上)
- 4) ポリウレタン樹脂塗料 上塗 (NV 60%以上)
- 5) ふつ素樹脂塗料 上塗 (NV 60%以上)

各社とも、ほぼ目標に合値する塗料を有している。

※ VOC : Volatile Organic Compoud

大気中のNOXと、太陽光線の紫外線によって反応し、光化学オキシダントを発生させる原因となる揮発性有機化合物

6. 低汚染塗料

耐候性の優れた、ポリウレタン樹脂塗料・シリコン樹脂系塗料・ふつ素樹脂塗料が採用されるにつれ、汚染物質の付着による塗膜表面の汚れが環境景観問題として浮上してきた。建設省が汚染に関する研究グループを作り、汚れに関する評価方法・試験方法・更に汚れを低減する方法の検討開発を行った。高耐候性塗料の防汚技術に関する共同研究を建設省 土木研究所と民間17社と実施し、「土木構造物用防汚材料利用技術ガイドライン(案)」を作成し、この性能基準に合格した材料の普及をはかっている。塗料メーカーも、性能基準に合致した塗料を上市し、実績も増している。

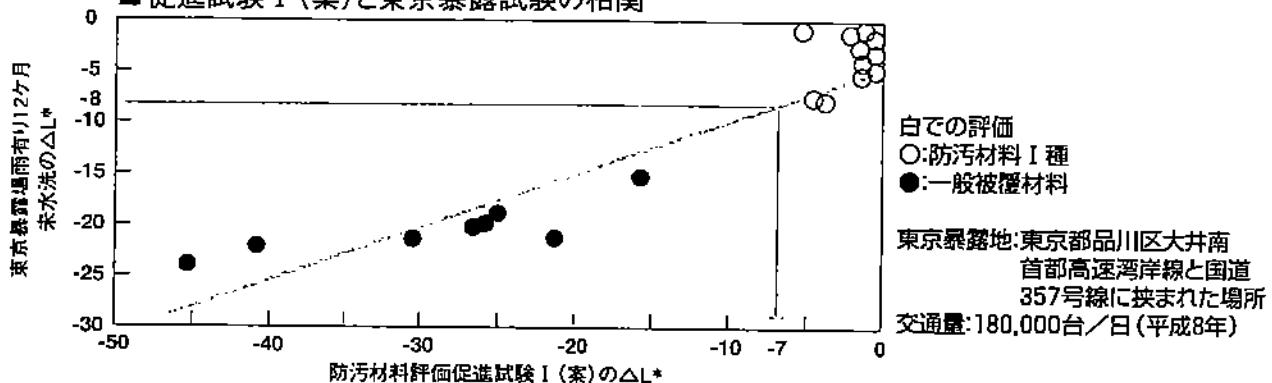
●本共同研究成果「土木構造物用防汚材料の利用技術ガイドライン(案)」より

適用場所	防汚材料の分類	防汚材料評価促進試験	性能基準
屋外土木構造物 およびその付帯設備	土木用防汚材料 I 種	防汚材料評価 促進試験方法 I (案)	$\Delta L^* -7.00$ 以上
トンネルおよび その付帯設備	土木用防汚材料 II 種	防汚材料評価 促進試験方法 II (案)	$\Delta L^* -5.00$ 以上

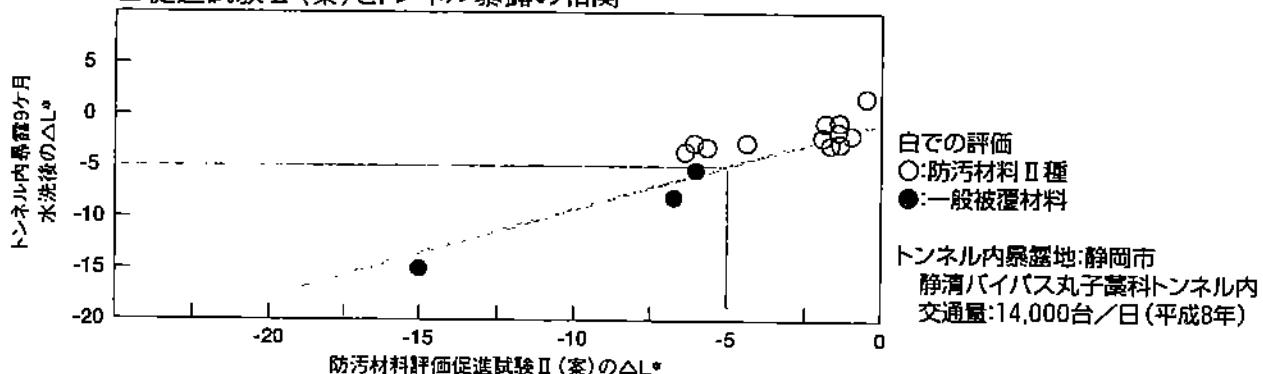
ΔL^* は汚れの程度を評価する明度差を示し、JIS Z 8722色の測定方法に基づき色差計で測定します。 ΔL^* のマイナス値が大きいほど汚れていることを表します。

●防汚材料の性能基準は暴露試験と促進試験の以下の関係より決めました。

■促進試験 I (案)と東京暴露試験の相関



■促進試験 II (案)とトンネル暴露の相関



7. 光触媒塗料

光触媒酸化チタンの触媒作用によって、大気中の有害物質や塗膜表面に吸着・付着した汚染物質を酸化・分解する塗料が、実用化に向けて各方面で検討が行われている。この塗料の用途として、次のような適用範囲が考えられている。

- (1)道路構造物に この塗料を塗装し、大気汚染の原因であるNOXやSOXを吸着し、硝酸イオン・硫酸イオンに酸化して除去する。
吸着したイオンは、降雨により容易に洗浄されるので、膜表面は再活性化し、継続的にNOX・SOXを吸着する。
- (2)病院の壁やトイレに塗装し、細菌を分解・殺菌する。
- (3)室内の照明器具に塗装し、タバコのヤニや ホルムアルデヒド等のシックハウス症候群の原因物質を分解し、室内を浄化する。
- (4)建造物に塗装し、カビや藻類を分解し表面の汚れを防止する。
- (5)建造物に塗装し、汚れ物質である油煙を分解し雨とともに洗い流すことにより、表面の汚れを除去する。

また、最近では 道路の排気ガス対策として この塗料のNOX除去効果が着目され、各地で実証確認試験が行われている。以下はその一例である。

- (1)大阪市西淀川区出来島2丁目交差点
:大阪市NOX高濃度汚染対策推進検討委員会
- (2)阪神高速道路 西大阪線弁天町付近
堺線料金所付近など
- (3)東京都大和町交差点環境対策効果検証委員会
:関東地建東京国道事務所・東京都
・東京板橋区・首都高速道路公団
- (4)神奈川県〔局地汚染対策モデル事業〕

塗装仕様例（コンクリート）

工 程	塗料など
素地調整	清掃ケレンと素地こしらえ
中 塗	光触媒用塗料専用バインダーコート
上塗第1層	光触媒塗料
上塗第2層	光触媒塗料

鉄部等の場合は各自に適した下塗り塗装系を塗装した後上記工程に移る。



環境対策塗装に対する塗料の一覧表

1 環境対策の内容		低臭気		防錆耐久性の機能を保有したまま臭気のマイルドな塗料用シンナーで希釈できる[変性エポキシ樹脂塗料下塗]。	
2 塗料メーカー名	関西ペイント(株)	神東塗料(株)	大日本塗料(株)	(株)トウペ	日本ペイント(株)
3 塗料商品名	エスコNBマイルド	ネオゴーセーマイルド下塗	エボオールマイルド	ユニバシ MS	ニューエボシ21ブライマー ハイポン20 フайн
4 塗料(樹脂)系統	変性エポキシ樹脂	変性エポキシ樹脂	変性エポキシ樹脂	エポキシ樹脂	変性エポキシ樹脂
5 適用規格	JIS	○	○	○	○
6 加熱残分(%)	68	65	72	65	70
7 使用有機溶剤 (ベース)	第3種	第3種	第3種	第3種	第3種
8 毒性別	(硬化剤)	第3種	第3種	第3種	第3種
9 区分	(硬化剤)	可燃性液体	可燃性液体	可燃性液体	可燃性液体
10 労安法上の表示 (ベース)	第2石油類	第2石油類	第2石油類	第2石油類	第2石油類
11 有害物 (硬化剤)	ケチミン	エポキシ樹脂	エポキシ樹脂	エポキシ樹脂	エポキシ樹脂
12 色	グレー、赤さび色	ライトグレー、ブラウン	ライトグレー、赤さび色	赤さび色	ミルキーホワイト、ブラウン、淡彩色
13 檜塗膜厚 (μm)	60	50	50	60	50
14 檜塗希釈率 (%)	100	50	100	100	80
15 塗装時間 (h)	0~10	5~10	5~10	0~5	0~10
16 塗装時間 (h)	0~10	5~10	0~5	0~15	0~5
17 希釈シンナー種別	塗料用シンナー-A	塗料用シンナー	※塗料用シンナー	塗料用シンナー	塗料用シンナー-A
18 乾燥時間 (h)	5°C 20°C 30°C	5°C 20°C 30°C	5°C 20°C 30°C	5°C 20°C 30°C	5°C 20°C 30°C
19 可使時間 (h)	指触 半硬化	4 16	1.5 6	0.5 3	0.3 1
20 塗装時間 (h)	最短(h)	12 24	7 8	6 10	5 5
21 最長(月)	1	1	1	0.7 1	0.5 1
22 実績	プラント・鋼梁等多數	各種プラント等多數	各種プラント等多數	プラント・橋梁 塗り替え等	橋梁・プラント等
23				※塗装機器の洗浄には 専用シンナーが必要	

環境対策塗装に対する塗料の一覧表

1 環境対策の内容	重金属フリー	クロムや鉛等の重金属を含まないでJISK562Xの性能を保持した塗料
2 塗料メーカー名	関西ペイント(株)	神東塗料(株)
3 塗料商品名	無鉛サビナイト	速乾ZP下塗
4 塗料(樹脂)系統	フタル酸樹脂	フタル酸樹脂
5 適用規格	JIS	
	便観	
	その他	*日本塗料工業会規格
6 加熱残分(%)	72	83
7 使用有機溶剤 (ベース)	第3種	第3種
種別 (硬化剤)		
8 消防法危険物 (ベース)	第2石油類	可燃性液体
区分 (硬化剤)		
9 労安法上の表示 (ベース)	キシレン	---
有害物 (硬化剤)		
10 色	白、赤さび色	赤さび色、さび
11 横溝厚 (刷毛)	35	35
(μm) (エアレススプレー)	35	35
12 標準希釈率 (刷毛)	0~10	0~5
(%) (エアレススプレー)	0~10	0~10
13 希釈シンナー別	塗料用シンナー	塗料用シンナー
	5°C 20°C 30°C	5°C 20°C 30°C
14 乾燥時間 指標	0.5 0.3 0.2	1 0.5 0.3
(h)	1 0.6	0.5 2.5 1.5
15 可使用時間 (h)	---	---
16 塗装間隔 最短(h)	8 3 3	48 24 16
最長(月)	6 6 6	6 6 6
17 実績	(販称名)	(販称名)
		(販称名)
		(販称名)
	XJPMS-26	リん酸塗系さび止ペイント
		リん酸塗系さび止ペイント

環境対策塗装に対する塗料の一覧表

環境対策の内容		VOC削減	塗装による大気揮発物(VOC)の30%以上削減可能な塗料(ジンクリッヂペイント NV 85%以上)				
2 塗料メーカー名	関西ペイント(株)	神戸塗料(株)	大日本塗料(株)	中国塗料(株)	(株)トウベ	日本ペイント(株)	
3 塗料商品名	SDシンク500HS	シンクプライマートHB	ゼットホールEP-2 HB	エビコンシンク S-HB	ガルヴァー#4001-B	ニッセンキーB000HB	
4 塗料(樹脂)系統	エポキシ樹脂	エポキシ樹脂	エポキシ樹脂	エポキシ樹脂	エポキシ樹脂	エポキシ樹脂	
5 通用規格	JIS	○	○	○	○	○	
6 加熱残分(%)	85	83	84	90	82	82	
7 使用有機溶剤(ベース)	第2種	第2種	第2種	第2種	第2種	第2種	
8 消防法危険物(ベース)	第1石油類	第1石油類	第2石油類	第2石油類	第1石油類	第2石油類	
9 労安法上の表示(ベース)	エポキシ樹脂 鉛性樹脂アミドアミン	エポキシ樹脂 鉛性樹脂アミドアミン	キシレン、エポキシ樹脂	キシレン、エポキシ樹脂	キシレン、エポキシ樹脂	キシレン、エポキシ樹脂	
10 有害物(硬化剤)	IPA、トルエン、キシレン、MIBK	ポリアミドアミン、トルエン、キシレン、IPA、 安全性用防護ボリマー、	キシレン、1-ブタノール、 安全性用防護ボリマー、 安全性用防護ボリマー、	キシレン、1-ブタノール、 安全性用防護ボリマー、 安全性用防護ボリマー、	トルエン、IPA、MEK、 ボリアミドアミン、 ボリアミドアミン、	トルエン、IPA、MEK、 ボリアミドアミン、 ボリアミドアミン、	
11 標準膜厚(μm)	40	30	30	50	30	50	
12 標準希釈率(%)	75	75	75	50	75	75	
13 希釈シナリー別	0~5	0~5	0~5	0~5	0~5	0~5	
14 乾燥時間(h)	0.5 6	0.2 3	0.5 4	1 2	0.3 8	0.25 5	0.7 2
15 可燃時間(h)	16	8	6	12	8	24	16
16 塗装間隔 最短(h)	40	24	24	16	48	24	16
17 実績	橋梁・プラント等多数	橋梁・プラント等多数	橋梁・プラント等多数	橋梁・プラント等多数	橋梁・プラント等多数	橋梁・プラント等多数	橋梁・プラント等多数

環境対策塗装に対する塗料の一覧表

1 環境対策の内容	VOCS削減	溶剤による大気汚染物(VOC)の30%以上削減可能な塗料	(変性エポキシ樹脂塗料下塗 NV75%以上)
2 塗料メーカー名	関西ペイント(株)	神東塗料(株)	(株)トウペ 日本ペイント(株)
3 塗料商品名	エボマリン HS	テンガードプライマー	ユニバン HS エビライト SL-300 ハイボン20マスチック
4 塗料(樹脂)系統	エボキン樹脂	変性エボキン樹脂	エボキン樹脂 エボキン樹脂
5 適用規格	JIS		
	便観	O	O
	その他		JH・HBS K5620
6 加熱残分(%)	78	85	84 88 89
7 使用有機溶剤 (ベース)	第2種	第2種	第2種 第2種
8 有機溶剤 (硬化剤)	第2種	第2種	第2種 第2種
9 消防法危険物 (ベース)	第2石油類	第2石油類	可燃性固体 第2石油類
10 区 分 (硬化剤)	第2石油類	第2石油類	第2石油類 第2石油類
11 労安法上の表示 (ベース)	エボキン樹脂	キシン、エボキン樹脂	キシン、エボキン樹脂 キシン、エボキン樹脂
12 有 著 物 (硬化剤)	キシン、変性ポリアミドアミン	変性ポリアミドアミン トルエン、変性ポリアミドアミン 変性ポリアミドアミン	キシン、ポリアミドアミン キシン、ポリアミドアミン トルエン、変性ポリアミドアミン
13 色	グレー、赤さび色	ライトグレー、ライトブラウン 赤さび、さび、グレー、白	グレー ホワイト、シルバーグレー
14 標準膜厚 (刷毛) (μm)	60 100	80 150	70 70 300 ---
15 標準膜厚 (刷毛) (%)	0~5 0~7	5~10 4~7	0~5 0~15 0~3 ---
16 塗装時間 最短(分)			
17 実 懸	その他	プラント類	木田公团等 プラント類

環境対策塗装に応する塗料の一覧表

1 塗膜対策の内容		VOC削減		塗装による大気揮発物(VOC)の30%以上削減可能な塗料 (オリウレタン樹脂塗料用中塗 NV70以上)					
2 塗料メーカー名	関西ペイント(株)	神東塗料(株)	大日本塗料(株)	中国塗料(株)	なし	(株)トーベ	日本ペイント(株)	日本ペイント(株)	日本ペイント(株)
3 塗料商品名	セラテクトU中塗HS	ハイセーブ中塗				ダルト#1000中塗E	ハイポン30マスチック中塗		
4 塗料(樹脂)系統	エポキシ樹脂	変性エポキシ樹脂					エボキシ樹脂		
5 適用規格	JIS	○					○	○	JH等 公園、公社
6 加熱残分(%)	73	76				70		64	
7 使用有機溶剤 (ベース)	第2種	第2種					第2種	第2種	
種 別 (硬化剤)	第2種	第2種					第2種	第2種	
8 消防法危険物 (ベース)	第1石油類	第1石油類					第1石油類	第1石油類	
区分	(硬化剤)	第1石油類	第1石油類				第1石油類	第1石油類	
9 労安法上の表示 (ベース)	キシレン、エポキシ樹脂	キシレン、エポキシ樹脂					キシレン、エボキシ樹脂	キシレン、エボキシ樹脂	
有害物 (硬化剤)	IPA、トルエン、異性ボリアミドアミン	キシレン、1-ブタノール、異性ボリアミドアミン					トルエン、1-ブタノール、MIBK、エボキシ樹脂 キシレン、IPA、1-ブタノール、MIBK、異性脂肪族ボリアミン	トルエン、1-ブタノール、MIBK、異性脂肪族ボリアミン	
10 色	各色	各色					各色	各色	
11 備準膜厚 (刷毛)	30	60					30	30	
(μm)	(エアレスプレー)	30	60				30	50	
12 備準希釈率 (刷毛)	0~5	5~10					0~5	0~5	
(%)	(エアレスプレー)	0~7	10~15				0~10	0~10	
13 希釈シナリオ別	専用シナリー	専用シナリー					専用シナリー	専用シナリー	
	5°C	20°C	30°C	5°C	20°C	30°C	5°C	20°C	30°C
14 乾燥時間	指触	6	3	2	5	1	1	2	1.5
(h)	半硬化	48	16	10	16	3	2	8	6
15 可使時間	(h)	B	6	4	12	7	4	8	6
16 塗装間隔	最短(h)	48	16	10	48	24	24	72	24
	最長(月)	1	0.5	0.3	0.3	0.3	0.3	1	1
17 実績	その他						標染		橋梁・プラント等

環境対策塗装に応する塗料の一覧表

1	環境対策の内容	VOC削減	塗装による大気揮発物(VOC)の30%以上削減可能な塗料	(ポリウレタン樹脂塗料上塗 NV60以上)
2	塗料メーカー名	関西ペイント(株)	神東塗料(株)	大日本塗料(株)
3	塗料商品名	セラテクト U 上塗HS	NYポリュンK上塗	Vヒップ H上塗 ユニマリン HS
4	塗料(樹脂)系統	ポリウレタン樹脂	ポリウレタン樹脂	ポリウレタン樹脂
5	適用規格	JIS	O O	O O
6	その他			JH等 公圓、公社
7	加熱残分(%)	63	62	63 75 74 74
8	使用有機溶剤 (ベース)	第2種	第2種	第2種 第2種
9	種別 (硬化剤)	第2種	第2種	第2種 第2種
10	消防法危険物 (ベース)	第2石油類	第2石油類	第1石油類 第2石油類
11	区分 (硬化剤)	第1石油類	第1石油類	第2石油類 第2石油類
12	労安法上の表示 (ベース)	キシレン	キシレン	キシレン、酢酸ブチル キシレン、MEK キシレン
13	有害物 (硬化剤)	酢酸エチル、イソシアネート	キシレン、イソシアネート	酢酸エチル、エソシアネート 酢酸ブチル、キシレン
14	色	各色	各色	各色 各色
15	標準膜厚 (μm)	25	25	30 50 50 30
16	標準希釈率 (%)	25	25	30 50 5~10 5~20
17	希釈シナーゼ別	専用シナーネ 専用シナーネ	専用シナーネ 専用シナーネ	専用シナーネ 専用シナーネ
18	乾燥時間 (h)	5℃ 20℃ 30℃ 2 1 1 半硬化	5℃ 20℃ 30℃ 0.5 0.3 1.5 1.5 8 6 8 5 3	5℃ 20℃ 30℃ 0.8 2 1 1.5 7 4 3 24 8 6 5 3
19	可燃時間 (h)	10~25	10~25	10~20 10~20 10~20
20	塗装间隔 最短(h)	0~7	10~25	0~10 0~10 0~10
21	最長(月)	---	---	5~10 5~10 5~20
22	実績	その他	橋梁・プラント	橋梁・プラント等 橋梁・プラント等

環境対策塗装に対する塗料の一覧表

1 環境対策の内容	2 塗料メーカー名	3 塗料商品名	4 塗料(樹脂)系統	5 適用規格	6 加熱残分(%)	7 使用有機溶剤(ベース)	8 消防法危険物(ベース)	9 労安法上の表示(ベース)	10 色	11 標準膜厚(刷毛)	12 標準希釈率(エアレスプレー)	13 希釈シッナー種別	14 帽焼時間(h)	15 可使用時間(h)	16 塗装時間	17 実績	
VOC削減	関西ペイント(株)	セラテクトF上塗HS	ふつ素樹脂	JIS	63	第2種	第1石油類	酢酸イソブチル、キレン	各色	25	25	専用シッナー	指触	半硬化	最短(h)	最长(月)	その他
塗装による大気揮発物(VOC)の30%以上削減可能な塗料	神東塗料(株)	シントーフロン#100H樹脂用	ふつ素樹脂	○	59	第2種	第2石油類	トルエン、シクロヘキサン	各色	30	30	専用シッナー	0.3	2	24	24	その他
(ふつ素樹脂塗料上塗 NV60以上)	大日本塗料(株)	Vフロン#100H 上塗 HS	ふつ素樹脂	○	62	第2種	第2石油類	キシレン、酢酸ブチル、イソシアネート	各色	30	30	専用シッナー	0.3	4	16	16	その他
(株)トウベ	中国塗料(株)	フローリックス上塗 HS	ふつ素樹脂	○	64	第2種	第2石油類	キシレン、酢酸ブチル、イソシアネート	各色	30	30	専用シッナー	0.3	2	24	24	その他
日本ペイント(株)	ニューガーモット#5000HG上塗	ふつ素樹脂	ふつ素樹脂	○	68	第2種	第2石油類	キシレン、酢酸ブチル、イソシアネート	各色	30	30	専用シッナー	0.3	2	24	24	その他
デュプロン100	ふつ素樹脂	ふつ素樹脂	ふつ素樹脂	○	68	第2種	第2石油類	キシレン、酢酸ブチル、イソシアネート	各色	30	30	専用シッナー	0.3	2	24	24	その他
デュプロン	ふつ素樹脂	ふつ素樹脂	ふつ素樹脂	○	68	第2種	第2石油類	キシレン、酢酸ブチル、イソシアネート	各色	30	30	専用シッナー	0.3	2	24	24	その他
JH等公団、公社	JH等公団、公社	JH等公団、公社	JH等公団、公社	○	68	第2種	第2石油類	キシレン、酢酸ブチル、イソシアネート	各色	30	30	専用シッナー	0.3	2	24	24	その他
JH等公団、公社	JH等公団、公社	JH等公団、公社	JH等公団、公社	○	68	第2種	第2石油類	キシレン、酢酸ブチル、イソシアネート	各色	30	30	専用シッナー	0.3	2	24	24	その他
塗装・各プラント等多数	塗装・各プラント等	塗装・各プラント等	塗装・各プラント等	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
塗装・各プラント等	塗装・各プラント等	塗装・各プラント等	塗装・各プラント等	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
塗装・各プラント等	塗装・各プラント等	塗装・各プラント等	塗装・各プラント等	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

環境対策塗装に応する塗料の一覧表

汚れが付着し難い塗料・土木用防汚材料1種適合品 (ポリウレタン樹脂系)									
1 環境対策の内容	低汚染	汚れが付着し難い塗料	日本ペイント(株)	神東塗料(株)	大日本塗料(株)	中国塗料(株)	(株)トウベ	日本ペイント(株)	
2 塗料メーカー名	関西ペイント(株)	クリーンボリューム	セラテクト U	クリーンボリューム	Vトップクリーン上塗	ユニマリンNo.500上塗	ダルトDC#100上塗	ハイポン60 ファインフレッシュ	
3 塗料商品名			セラテクト U	セラテクト U	ポリウレタン樹脂	ポリウレタン樹脂	ポリウレタン樹脂	ポリウレタン樹脂	
4 塗料(樹脂)系統		ポリウレタン樹脂			○	○	○	ポリウレタン樹脂	
5 適用規格	JIS	○			○	○	○	○	
6 煙観		○			○	○	○	○	
7 その他	JH等 公司、公社	JH等 公司、公社	JH等 公司、公社	JH等 公司、公社	JH等 公司、公社	JH等 公司、公社	JH等 公司、公社	JH等 公司、公社	JH等 公司、公社
8 加熱残分(%)	57	60			61	58	51	70	
9 使用有機溶剤(ベース)		第2種		第2種	第2種	第2種	第2種	第3種	
10 種別	(硬化剤)	第2種		第2種	第2種	第2種	第2種	第3種	
11 消防法危険物	(ベース)		第2石油類	第2石油類	第2石油類	第2石油類	第1石油類	可燃性液体	
12 区分	(硬化剤)		第1石油類	第1石油類	第1石油類	第2石油類	第2石油類	可燃性液体	
13 労安法上の表示	(ベース)		キシレン	キシレン	キシレン	キシレン	トルエン、酢酸ブチル		
14 有害物	(硬化剤)	酢酸エチル、イソシアネート	MEK	MIBK、酢酸ブチル、イソシアネート	キシレン、酢酸ブチル、イソシアネート	キシレン、酢酸ブチル、イソシアネート			
15 色	各色	淡彩色	各色	各色	各色	各色	各色	各色	
16 横溝膜厚	(刷毛)	25	25	30	30	30	25	30	
(μm)	(エアレスプレー)	25	25	30	30	30	25	30	
17 横溝耐車	(刷毛)	0~5	10~25	0~10	0~10	0~10	0~5	0~10	
(%)	(エアレスプレー)	0~10	10~25	0~10	5~15	5~15	0~5	0~10	
18 希釈シンナー種別		専用シンナー	専用シンナー	専用シンナー	専用シンナー	専用シンナー	専用シンナー	専用シンナー	塗料用シンナーA
19 乾燥時間		5°C 20°C 30°C	5°C 20°C 30°C	5°C 20°C 30°C	5°C 20°C 30°C	5°C 20°C 30°C	5°C 20°C 30°C	5°C 20°C 30°C	
(h)	指触	2 1 0.5 0.3 0.3	1 1 1 1 1	1.5 2 1 1 1	1 7 4 3 3	0.8 0.8 6 12 12	0.3 0.3 4 4 3	0.2 0.2 4 16 16	0.5 0.5 2 2 1
20 可使時間	半硬化	16 8	6 6	6 2	1 1	7 4	3 3	4 4	0.5 0.5
21 塗装時間	(h)	8 24	5 16	3 10	12 8	6 6	5 24	8 16	6 6
22 費量(h)		24 ---	16 ---	10 ---	8 0.5	4 0.2	2 0.2	12 ---	24 ---
23 費量(月)		---	---	---	0.1	0.1	0.2	10 10	16 ---
24 実績		膜厚等多數	膜厚等多數	膜厚等多數	膜厚等多數	膜厚等多數	膜厚等多數	膜厚等多數	膜厚等多數
25									プラント等
26									
27									
28									
29									
30									

環境対策塗装に対する塗料の一覧表

1 環境対策の内容		低汚染		汚れが付着し難い塗料		土木用防汚材料・種適合品 (シリコン系)										
2 塗料メーカー名	関西ペイント(株)	神東塗料(株)	大日本塗料(株)	中国塗料(株)	(株)トウベ	日本ペイント(株)										
3 塗料商品名	なし	クリーンセラム	Vシリコン#00クリーン上塗	シリカテックM500上塗	シリコンハイドロ60フレッシュ	ハイボン60フレッシュ										
4 塗料(樹脂)系統		アクリルシリコン樹脂	シリコン変性アクリル樹脂	アクリルシリコン樹脂	アクリルシリコン樹脂	シリコン変性アクリル樹脂										
5 適用規格	JIS															
	便観															
	その他															
6 加熱残分(%)		60	62	64	55	65										
7 使用有機溶剤 (ベース)		第2種	第2種	第2種	第2種	第2種										
8 横別 (硬化剤)		第2種	第2種	第2種	第2種	第2種										
9 消防危険物 (ベース)		第1石油類	第2石油類	第2石油類	第1石油類	第1石油類										
10 区分 (硬化剤)		第1石油類	第1石油類	第1石油類	第1石油類	第1石油類										
11 労安法上の表示 (ベース)		キシレン	キシレン	キシレン	キシレン	キシレン										
12 有害物 (硬化剤)		キシレン, IPA	キシレン, IPA	キシレン, IPA	キシレン, IPA	キシレン, メタノール, トルエン, IPA										
13 色		各色	各色	各色	各色	各色										
14 標準膜厚 (刷毛)		25	30	25	25	30										
(μm) (エアレスプレー)		25	30	25	25	30										
15 標準希望率 (刷毛)		5~10	3~10	0~10	0~5	10~20										
(%) (エアレスプレー)		20~30	7~15	20~30	5~10	20~30										
16 布紙シナーワーク別		専用シナーワーク	専用シナーワーク	専用シナーワーク	専用シナーワーク	専用シナーワーク										
17 乾燥時間 指触		6°C 20°C 30°C	5°C 20°C 30°C	5°C 20°C 30°C	5°C 20°C 30°C	5°C 20°C 30°C										
(h) 半硬化		0.4 4 8 48 0.3	0.3 1 6 24 0.2	0.2 1 4 4 0.2	0.7 8 6 4 0.2	0.1 8 6 4 0.3	0.06 15 10 12 0.2	0.5 6 5 5 0.25	0.3 6 5 6 0.25	0.2 8 6 12 0.25	0.3 5 6 6 0.25	0.2 3 2 2 0.25	0.3 1 1 5 0.25	0.2 0.5 5 16 ---	0.2 0.5 5 16 ---	
18 実績																

環境対策塗装に応する塗料の一覧表

1	環 境 対 策 の 内 容	低 汚 染	汚れが付着し難い塗料	・ 土木用防汚材料1種適合品	(ふつ葉樹脂系)	
2	塗 料 メー カー 名	関西ペイント(株)	神東塗料(株)	大日本塗料(株)	(株)トウベ	日本ペイント(株)
3	塗 料 商 品 名	セラテクトF	クリーンフロン	Vフロン#100クリーン上塗	ニューガーメットDC#500	デュフロン100フレッシュ
4	塗 料(樹脂)系統	ふつ葉樹脂	ふつ葉樹脂	ふつ葉樹脂	ふつ葉樹脂	ふつ葉樹脂
5	通用規格	JIS	○	○	○	○
—	便 載	○	○	○	○	○
	そ の 他	JH等 公団、公社	JH等 公団、公社	JH等 公団、公社	JH等 公団、公社	JH等 公団、公社
6	加熱残分(%)	61	57	66	58	60
7	使用有機溶剤	(ベース)	第2種	第2種	第2種	第2種
8	種 別	(硬化剤)	第2種	第2種	第2種	第2種
9	消 防 法 危 険 物	(ベース)	第1石油類	第2石油類	第2石油類	第1石油類
10	区分	(硬化剤)	第2石油類	第1石油類	第2石油類	第1石油類
11	労安法上の表示	(ベース)	酢酸イソブチル、キシレン	キシレン	キシレン	キシレン
12	有 善 物	(硬化剤)	イソシアネート	MIBK、酢酸ブチル	キシレン、イソシアネート	酢酸ブチル、イソシアネート
13	色	各色	各色	各色	各色	各色
14	標準膜厚 (μm)	(エアレスプレー)	25	25	30	25
15	標準希望年 (%)	(エアレスプレー)	0~10	0~10	0~10	0~10
16	可 使 時 間 (h)	5~15	5~15	0~8	5~10	5~25
17	希 釈 剂 別	専用シンナー	専用シンナー	専用シンナー	専用シンナー	専用シンナー
18	乾 燥 時 間 (h)	5℃ 20℃ 30℃	5℃ 20℃ 30℃	5℃ 20℃ 30℃	5℃ 20℃ 30℃	5℃ 20℃ 30℃
19	可 使 時 間 (h)	24	24	10	24	16
20	最 長 (月)	---	---	0.3	0.3	0.3
21	完 成	その他	構造等多数	構造等多数	構造等多数	構造・プラント等

環境対策塗装に応する塗料の一覧表

1 環境対策の内容		光触媒塗料		酸化チタンの光触媒作用によって有害物を酸化・分解し無害化する塗料			
2 塗料メーカー名	関西ペイント(株)	神東塗料(株)	大日本塗料(株)	中国塗料(株)	(株)トウペ	日本ペイント(株)	
3 塗料商品名	セラテクト L上塗	なし	バッカスクリーン上塗	ソルシオン上塗	トアサンクリーン#100	グラシティ10 #2000	
4 塗料(樹脂)系統	無機樹脂		無機樹脂	無機樹脂	無機樹脂	水系シリコン樹脂	
5 通用規格	JIS						
6 加熱残分(%)	5		40	40	64	45	
7 使用有機溶剤 (ベース)	第2種		第2種	第2種	第2種	---	
8 消防法危険物 (ベース)	第1石油類		第2石油類	第1石油類	第2石油類	非危険物	
9 区 分 (硬化剤)			第1石油類	第2石油類	第1石油類	非危険物	
10 労安法上の表示 (ベース)	エタノール, IPA, 1-ブタノール		キシレン、1-ブタノール	IPA, 1-ブタノール	キシレン	---	
11 有 害 物 (硬化剤)			1-ブタノール	トルエン	トルエン	---	
12 色	乳白色半透明	白、グレー、淡彩色	ライトクリーム	白、グレー	白		
13 標準膜厚 (刷毛)	1	35	25	30	30	30	
(μm)	(エアレスプレー)	1	35	50	30	30	---
14 檢準粘度車 (刷毛)	0~10	0~5	0~5	0~15	0~15	0~5	
(%)	(エアレスプレー)	0~10	5~15	5~15	5~10	5~10	---
15 希釈シンナー種別	専用シンナー	専用シンナー	専用シンナー	専用シンナー	専用シンナー	専用シンナー	水道水
	5°C	20°C	30°C	5°C	20°C	30°C	
16 乾燥時間 (h)	0.15 0.1 0.05	1 0.5 0.3		3 2 0.5	0.3 0.2	0.08 0.3	5°C 20°C 30°C 30°C
				8 4 2	10 7 6	2 1 0.5	
17 可使時間 (h)	---	---		12 8 6	4 3 12	8 6 20	
18 塗装時間 最短(h)	2 1 1			24 16 16	15 10 48	24 16 16	
	最長(日)	---	---	7 7 5	1 1 1	10 10 10	
19 実績	防音壁試験施工	東京都・大阪府	阪神高速ガードレール	阪神高速、大阪国道	阪神高速高架	中村地盤	

環境対応型塗料の現状 付属資料

VOC対策塗料の作業性試験結果

1. 試験の目的

防食用塗料として有機溶剤を用いない、あるいは削減した無溶剤形塗料、水性塗料、低溶剤形塗料などが開発され市場に出ている。これらの塗料が鋼橋の塗り替えに適用できる可能性を調べるために作業性を中心に試験を行った。

2. 日時および場所：平成12年4月26～27日 建設省 朝霧訓練センター

3. 試験塗料

No	塗料名	塗料メーカー	商品名	標準塗付量 (はけ g/m ²)	標準膜厚 (μm)	加熱残分 (wt%)
1	無溶剤変性エポキシ樹脂塗料	日本ペイント	ハイポン20 NS速乾(冬用)	300	120	100 (不揮発分)
2	無溶剤変性エポキシ樹脂塗料	大日本塗料	エポオールNS	300	120	100 (不揮発分)
3	低溶剤変性エポキシ樹脂塗料	日本ペイント	ハイポン20 マスチックW	200	80	89
4	低溶剤ポリウレタン樹脂塗料上塗	日本ペイント	ハイポン50 上塗	120	30	74
5	低溶剤変性エポキシ樹脂塗料	関西ペイント	エポマリンHS	500	150	87
6	水性ポリウレタン樹脂塗料中塗	関西ペイント	アクテクトU 中塗	120	30	57
7	水性ポリウレタン樹脂塗料上塗	関西ペイント	アクテクトU 上塗	100	25	57

4. 試験結果

1) 作業性および塗膜状態

はけ塗りは鋸歯ウエブを使用 (塗付面積 1試料／約2m²)

ローラー塗りは900×900(mm)変性エポキシ塗装板を使用

①塗装条件

No	はけ					ローラー				
	希釈 (%)	液温 (℃)	粘度 (P)	使用量 (g/m ²)	w e t 膜厚 (μm)	希釈 (%)	液温 (℃)	粘度 (P)	使用量 (g/m ²)	w e t 膜厚 (μm)
1	0	18	43	282	150	0	18	43	257	150
2	0	17	43	224	125	0	17	43	221	125
3	5	17	10	191	100	5	16	10	162	125
4	5	15	5	143	75	5	15	5	133	75
5	5	17	30	310	225	5	17	30	265	225
6	3	18	10	100	75	3	18	10	115	75
7	0	19	15	82	50	0	19	15	73	50

②作業性および塗膜状態

No.	はけ		ローラー		備考
	作業性	塗膜状態	作業性	塗膜状態	
1	やや不良	普通	普通	ローラーマーク 大	無溶剤 (目標膜厚 120 μm)
2	やや不良	普通	普通	ローラーマーク 大	無溶剤 (120 μm)
3	普通	普通	普通	普通	目標膜厚 80 μm
4	普通	普通	普通	普通	目標膜厚 30 μm
5	やや不良	はけ目やや 目立つ	普通	ローラーマーク 大	目標膜厚 150 μm 設定膜厚確保のためには 施工効率は低下する。
6	普通	普通	普通	普通	
7	普通	普通	普通	普通	光沢むら発生しやすい。

2) 乾燥時間

乾燥性試験は 100 × 200 (mm) 鋼板を使用

塗装は 4/26 16:00～17:00 の間に行い、乾燥性は 4/27 調べた。

鋼板の表面温度変化は次の通りである。

26日 16:00	7.9°C	27日 2:00	6.9°C
18:00	6.5°C	4:00	7.1°C
20:00	6.4°C	6:00	8.3°C
22:00	6.7°C	8:00	12.6°C
24:00	6.8°C	10:00	19.1°C
		12:00	20.4°C
		14:00	17.0°C

試験結果

No.	16 時間後	22 時間後
1	指触～半硬化	半硬化～硬化
2	指触～半硬化	半硬化～硬化
3	硬化	
4	硬化	
5	硬化	
6	硬化	
7	硬化	

3) 可使時間

可使時間の調査条件は外気温 15°C~17°Cで 塗料の容量 1 L 無希釈とした。

塗装性は各経過時間にはけにより塗装し、その作業性を調査した。

試験結果

No.	項目	0	15	30	45	60	75	90	105	120
	経過時間(分)									
1	粘度	18°C	20°C	25°C	32°C	38°C	39°C			
	温度	43P	43P	45P	47P	65P	110P			
	塗装性	可	可	可	可	困難	不可			
2	粘度	17°C	19°C	22°C	22°C	21°C	25°C	25°C	28°C	
	温度	43P	43P	43P	45P	48P	50P	65P	75P	
	塗装性	可	可	可	可	可	可	可	不可	
3	粘度	17°C		20°C		20°C		20°C		18°C
	温度	22P	—	23P	—	23P	—	25P	—	28P
	塗装性	可		可		可		可		可
4	粘度	17°C		17°C		18°C		18°C		17°C
	温度	14P	—	14P	—	14P	—	15P	—	16P
	塗装性	可		可		可		可		可
5	粘度	20°C		20°C		19°C		18°C		17°C
	温度	48P	—	48P	—	48P	—	48P	—	49P
	塗装性	可		可		可		可		可
6	粘度									
	温度									
	塗装性									
7	粘度									
	温度									
	塗装性									

5. 試験結果のまとめ

1) 無溶剤変性エポキシ樹脂塗料

作業性：はけ塗りでは塗料粘度が高いため、はけさばきが容易でなく溶剤系 2 液形下塗塗料と比べかなり施工効率が低下する。

ローラー塗りでは特に問題ない。

塗膜状態：はけ塗りでは特に問題ない。

ローラー塗りの場合は塗面の凹凸が目立つので美観を必要とするようなウェブ外側などへの適用には懸念がある。

乾燥性：低温乾燥性は悪いようであるが冬場を除けば問題ない。

可使時間：外気温が約 16°C で 45 分および 90 分と試料間に差が認められるがいずれも短い。可使時間が短いのは乾燥性との関わりでやむお

えないかも知れないが、実作業においては支障がある。

2) 低溶剤変性エポキシ樹脂塗料

鋼道路橋塗装用塗料標準の変性エポキシ樹脂塗料下塗は加熱残分が 60% 以上と規定されている。供試した試料はこれを各々 87% (67% 削減)、89% (72% 削減) にしたものである。

目標膜厚を 80 μm に設定している試料は作業性、塗膜状態、乾燥性、可使時間のいずれも問題ない。目標膜厚を 150 μm に設定している試料は乾燥性、可使時間は問題ないが、作業性、塗膜状態がやや不良である。目標膜厚を 60 ~ 80 μm にした場合は特に問題ないと思われる。

3) 低溶剤ポリウレタン樹脂塗料上塗

鋼道路橋塗装用塗料標準のポリウレタン樹脂塗料上塗は加熱残分が 45% 以上と規定されている。供試した試料はこれを 74% (52% 削減) にしたものであるが、作業性、塗膜状態、乾燥時間、可使時間のいずれも問題ない。

4) 水性ポリウレタン樹脂塗料中塗、上塗

中塗、上塗の両者とも湿度が高かった (約 90%) ためかはけ塗り時の塗着性がやや不良であったがはけさばき性は容易である。

上塗は素地の状態によって光沢むらが発生しやすい。これらの欠点は水性塗料の宿命的なものかもしれない。